

医療器材産業集積が世界を目指す

南科では「南部生技医療器材産業集落発展計画」第二期計画に基づき、行政サービスのワンストップ化、産学研及び医療現場による協同体制の構築、国際的なキーオピニオンリーダー(KOL)へのアプローチなどの施策を積極的に展開し、革新的な医療器材を生み出すための環境整備に努めています。2014年には本計画の適用を申請した4社が入居し、累計投資認可企業数は50社、累計投資総額は81.3億元に上ります。2014年の売上高は8.2億元と、10.7%の伸びを示しました。

革新的技術の研究開発に対する助成金制度では、2014年に受理した61件の申請案のうち34件に対して1.1億元を補助。各企業が投じた研究開発費は1.3億元となりました。

南科では認証取得のための支援も行っています。これまでに5社が人工歯根の開発に成功して衛生福利部の審査に合格、登記されたほか、18社が優良製造標準(GMP)を取得、6社が生技新薬産業発展条例の適用企業に認定、27社が衛生福利部食品薬物管理署(TFDA)、10社が米国食品医薬品局(FDA)による製品発売許可を、そして16社が欧州のCEマークを取得しました。



■ 2014年南部生技医療器材産業集落発展計画成果発表会にて記念撮影 (2014.10.09)

世界一重要なシリコンウエハ製造拠点

台積電(TSMC)は5000億元以上を投じ、台南園區14廠第5~7期工場において20ナノ以下の製造プロセスを導入しました。第5~6期と先端的なパッケージング工場はすでに量産体制に入っており、第7期も生産設備の設置を完了。また、聯電(UMC)も2400億元以上の投資により台南園區Fab12A第5、6期工場に28ナノ以下のプロセスを導入しています。シリコンウエハ製造大手の2社による投資拡大は川上から川下まで周辺産業の集積を促し、南科を世界最大の12インチウエハの製造拠点へと成長させています。



■ 台積電14廠第4期ウエハ工場

大型投資で厚みを増す光電産業集積

群創光電は11月20日、高雄園区において低温多結晶シリコン(LTPS)パネル工場の増設を発表しました。主に携帯電話機の高級モデル用に生産されるもので、投資金額は800億元以上。新たに2300人の雇用の創出が見込まれています。一貫生産システムの導入は、コスト削減のほか、台湾に技術を根付かせ日本、韓国をリードするための鍵でもあります。



■ 群創光電「投資台灣・深根台灣」投資意向書調印式（2014.11.20）

集積が進むグリーンエネルギー産業

2013年にスタートした「南科緑能低碳産業集落推動計画」に基づき、2014年には新たに1社を迎えて累計認可企業数は6社、累計投資額は3.35億元となりました。研究開発に対する助成金制度については、2014年に受理した22件の申請案のうち13件に対して総額3325.2万元を助成。各企業が投じた研究開発費は3600万元以上に達しました。



■ グリーンエネルギー産業趨勢論壇及び合同展示大会（2014.11.13）